

大学とは何か

—多様な大学・大学院を活用し、よい人生を目指そう—

開倫塾

塾長 林 明夫

おはようございます。開倫塾塾長の林明夫です。今朝も「開倫塾の時間」をお聴きいただき、ありがとうございます。

大学入試センター試験が終わり、これから私立大学入試、国公立大学の前期・後期入試が始まりますので、大学についてお話させていただきます。

現在どのくらいの方が大学に進学するのかといえますと、高校を卒業した方の約 80%が高等教育機関に進学します。「高等教育機関」というのは、短期大学・専門学校・専修学校・大学のことをいいます。高校卒業後に就職する方ももちろんいらっしゃいますが、上の学校に進学して勉強する方が本当に多いというのが現状です。

教育にはいろいろな分類がありまして、幼稚園での教育を「幼児教育」、小学校で行っている教育を「初等教育」、中学校と高等学校で行っている教育を「中等教育」といいます。特に、中学校の教育のことを「前期中等教育」、高等学校の教育のことを「後期中等教育」といいます。そして、幼児教育・初等教育・中等教育の上に成り立つのが「高等教育」で、先ほどお話した大学、短期大学、専門学校、専修学校、さらに大学の上の大学院は「高等教育機関」といいます。また、それらが終わって社会に出て活躍なさっている方や活躍後を過ごしている方が受ける教育を「生涯教育」としています。以上のように、教育には、「幼児教育」・「初等教育」・「中等教育」・「高等教育」・「生涯教育」という5つの分類があります。

先日実施された「大学入試センター試験」は、多くの大学が入学試験として採用している試験ですので、大学入試センター試験を受ける方のことをこれからお話します。

大学は全国に 700 以上もあり、理科系・文科系の大学があります。「理科系」の大学には、理学部・工学部・医療系や薬学部・獣医学部などがあり、「文科系」には、文学部・法学部・経済学部・経営学部・教育学部などがあります。最近では、文科系と理科系が融合したような、例えば地球環境○○や国際○○などという名前のついた学部があります。だんだんと社会が複雑になってきましたので、昔のような文科系・理科系に割り切れないところが多くなってきて、「学際的」といいますか、それらが融合したような学部もできているのです。

理科系の大学の場合は、4年制の大学を出たあとに「大学院の修士課程」に進む方が多いです。中には、学部を修了したほぼ全員の方が修士課程に進む大学もあるようです。修士課程というのは大学院の2年制です。「大学院」には「修士課程」と「博士課程」があり、修士課程は2年制、博士課程

は3年制です。大学院として全員が5年間の博士課程を履修することを原則と考える大学では、従来の修士課程を「博士課程前期」、従来の博士課程を「博士課程後期」と呼んでいるようです。理科系の大学の場合は、専門領域が非常に複雑といいますか、深くなってきましたので大学4年間の勉強ではとても終わらないということで、大学院の修士課程に進学する方が多くいらっしゃいます。ですから、これから大学に進学する理科系希望の方は、大学は4年間で終わるのではなく、あと2年プラスして大学院の修士課程まで行って勉強する方が増えているということを認識していただき、そのようなことも考えて大学入試に臨んでいただきたいと思います。

文科系の方はどうかといいますと、同じように社会が複雑になってきていますので、大学院に進む方が多くなってきているようです。法学部を出てから修士課程で勉強する方や、弁護士になるための法科大学院などいろいろな専門職の大学院(専門職大学院)もたくさんありますので、そのようなところで勉強する方も多いようです。

大学院の修士課程は2年で終わる場合が多いですが、短期履修といひまして、社会人の場合は1年で終わる方もたくさんいます。また、長期履修といひて、修士課程を3~4年かけて終わる方も多いです。驚くような話ですが、大学を出ただけでは専門知識がなかなか身に付かないということで、そのあとに専門学校や専修学校に行つて勉強する方もたくさんいます。特に、専門学校では半分以上の方が4年制大学や短期大学を卒業した方が進学する人が多いようです。

続いて、短期大学のお話です。短期大学は2年間ですので、2年生が終わったあとに大学の3年生に編入する方も今は非常に多いようです。そして、大学の3・4年が終わったあとに、さらに専門学校や大学院に行つたりする方もたくさんいます。

今後の動きとして私が最も注目するのは、5年間一貫教育の高等専門学校(高専)です。今後は従来型の国立工業専門学校だけではなく、私立や公立の高専やサービス産業や医療・介護・福祉・農業などの高等専門学校の設立が望まれます。

このように非常に多くの選択肢がありますので、どのような人生の選択肢を選ぶのかについてじっくりと考えた上で大学を受けたほうがよいと思います。もし理科系の大学を受けるのであれば、大学院の修士課程まで行くのだと念頭に置いて大学を選んだり学部を選んだりしたほうがよいですね。

また、今は奨学金がとても充実していますので、高校生のおきに一所懸命勉強したり、大学1・2年生で一所懸命勉強すれば、いくらでも奨学金を受けることが可能です。学費が大変な場合は、高校生のおきに一所懸命勉強して高校でよい成績をとっておくと、無料で通える場合は少ないかもしれませんが、奨学金という形でお金をお借りして進学することができます。ですから、高校生のおきにしっかりと勉強していただきたいと思います。

今日は大学入試が迫ってきましたので、大学について皆さんと考えさせていただきました。ぜひ、皆さんも大学について考えていただきたいと思います。また、今は1度社会に出た方でもいくらでも大学や大学院に行くことができますので、ぜひ挑戦していただければと思います。費用や通学時間などを考えると一番有難いのは「放送大学」です。日本の放送大学は世界の最高レベルと評価され素晴らしい内容の大学ですので、ぜひ放送大学の学部と大学院の課程を履修していただければと思います。

— 2013年6月12日加筆・訂正、林明夫 —